

## 《今どきの家庭のキッチン事情は？》

～今どきのキッチンに関する調査より～

注目の設備は「汚れを落としやすい壁パネル」「IHクッキングヒーター」。食器洗い器・浄水器は《後付け》より《組み込み型》に魅力。電子レンジの利用法、主流は温め直しと冷凍もの。

「ケーキ・お菓子作り」「野菜をゆでる」ことにも積極的。キッチンに出してあるのは「スポンジ」「台所用洗剤」。

ゴミはやっぱりジャマなもの。

株式会社日本能率協会総合研究所の運営する情報提供調査機関マーケティング・データ・バンクでは、首都圏在住の20～60代の主婦1,020人を対象に、「今どきのキッチンに関する調査」を実施いたしました。

《今どきの主婦にとってキッチンとは？》 見せるキッチン意識、保有設備・機器、収納の場所、収納に困っているもの等について調査し、今どきの主婦のキッチンの利用実態を明らかにしました。

《食事づくりの実態は？》 調理行動・調理方法と面倒なこと、ミールソリューション（惣菜・加工食品・外食）の利用と抵抗感、電子レンジクッキング、ホームフリージングなど食品の保存と使い切り、食品保存グッズの利用などについて調査し、食事づくりの実態を明らかにしました。

《後片付け・掃除の実態は？》 日常の行動と面倒なこと、気になる臭い・汚れ、日常使う掃除道具・洗剤・便利グッズなどを調査し、後片付け・掃除の実態を明らかにしました。

今回はその中から、「キッチンに欲しい設備」「電子レンジの利用法」「キッチンの見えるところにあるもの」に焦点を当ててご報告いたします。

### [ 今回の調査の概要 ]

本調査は、弊社自主企画による調査に複数企業にご参加いただく方式で実施いたしました。調査結果一式のご提供は下記費用を申し受けます。

- ・費用：1社につき定価40万円(MDBメンバーは36万円) \*別途消費税を申し受けます。

本調査の報告書はご購入いただいた企業以外は入手できません。

- ・調査対象：首都圏の20～60代の主婦
- ・調査方法：日本能率協会総合研究所「J-FAXリサーチ」システム利用によるFAX調査
- ・有効回収数：1,020人(発送数1,300人、有効回収率78.5%)
- ・調査実施日：2002年5月30日～6月5日
- ・調査のアウトプット： 調査報告書(A4判・59ページ) 集計結果表(A4判・459ページ)

**注目の設備は、  
「汚れを落としやすい壁パネル」「IHクッキングヒーター」。  
食器洗い器・浄水器は《後付け》より《組み込み型》に魅力。**

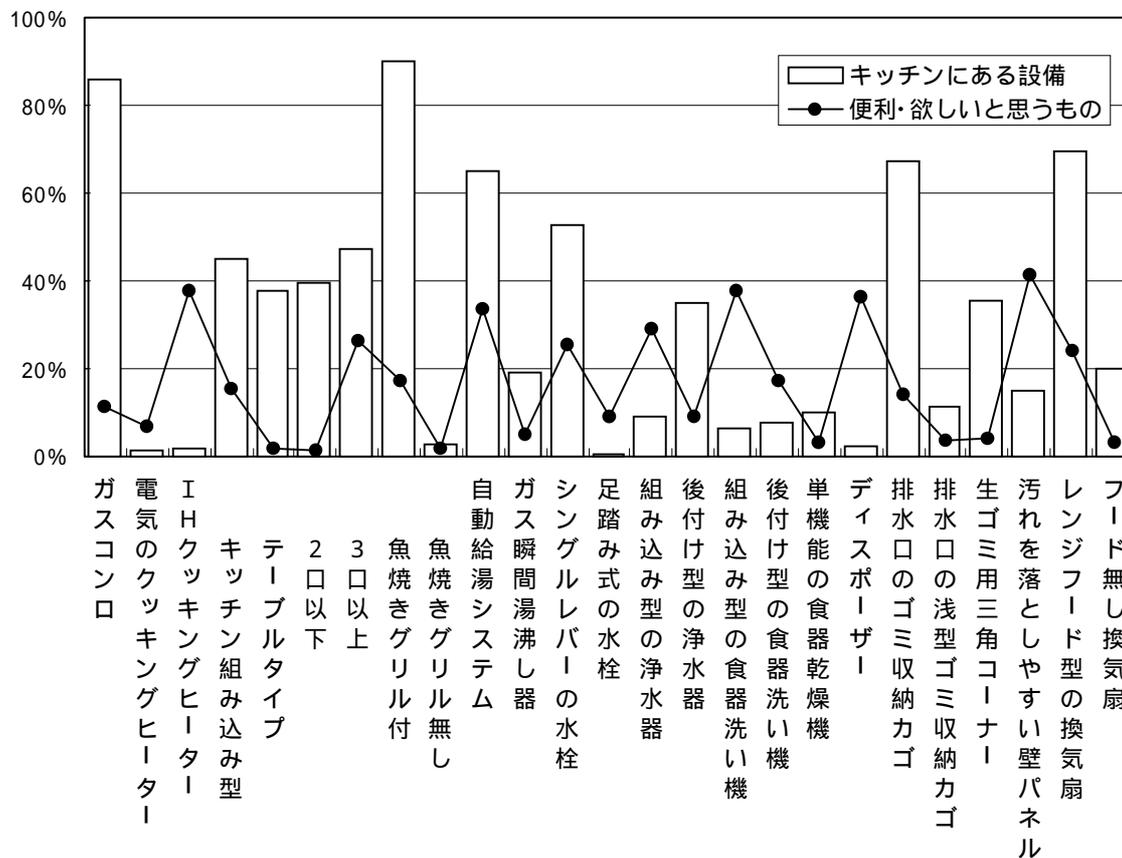
今回の調査では、シンク・調理台・ガス台などが1枚のキッチンカウンターでつながっている「システムキッチンである」と回答した人は、全体の51%と過半数に達しました。

キッチン設備について過半数が「ある」と回答したタイプは、「魚焼きグリル付きコンロ」「ガスコンロ」「レンジフード型の換気扇」「排水口のゴミ収納カゴ」「自動給湯システム」「シングルレバーの水栓」でした。今どきのキッチンは、蛇口はレバーの上げ下げひとつでお湯が出て、排水口の下のカゴで生ゴミを集め、レンジは魚焼きグリルのついたガスコンロで、上にレンジフードが覆っている、といったものがごく標準的な設備のようです。

そのような中、保有より便利・欲しいという要望の強かった設備は、「汚れを落としやすい壁パネル」「IHクッキングヒーター」「組み込み型の食器洗い機」「ディスポーザー」「組み込み型の浄水器」の順でした。さっと拭くだけで汚れが落とせる「壁パネル」、調理も手入れも簡単・安全な「IHクッキングヒーター」、らくらく後片付けの「食器洗い機」、おいしい水にこだわったら「浄水器」、生ゴミを触ることなく処理できる「ディスポーザー」...より簡単に、よりきれいに、よりおいしくが実現できる設備が魅力、そして導入するなら、邪魔にならず、目立たず、使いやすくキッチンに《組み込まれたタイプ》がいいと思っている人が多いようです。

キッチンにある設備(MA)

n = 1,020



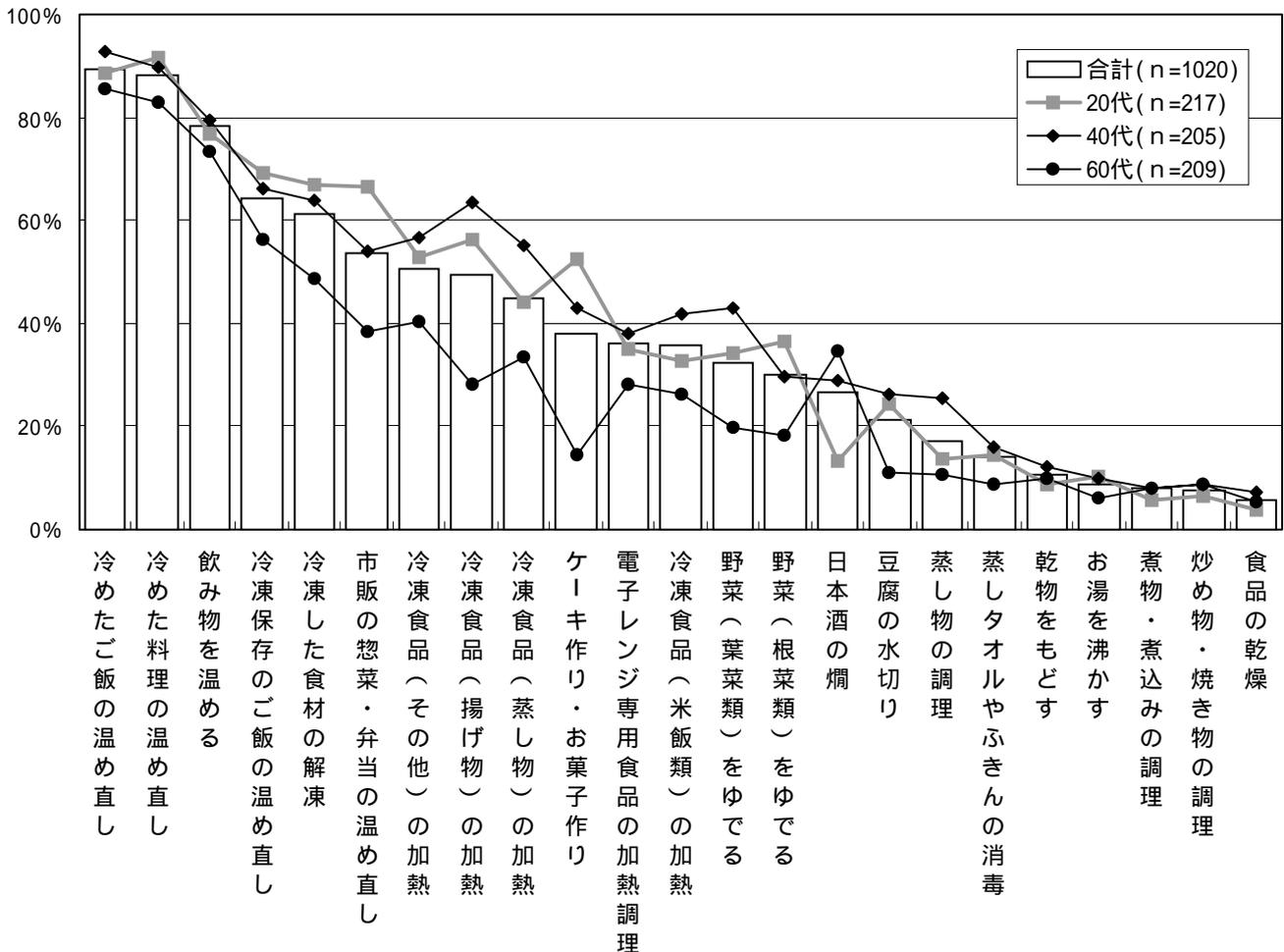
## 電子レンジの利用法、主流は温め直しと冷凍もの。 「ケーキ・お菓子作り」「野菜をゆでる」ことにも積極的。

今回の調査で、今どきの主婦は1日平均2.5回使っていると回答した「電子レンジ」。その使い方を聞いてみました。

トップは「冷めたご飯の温め直し」、次いで「冷めた料理の温め直し」と温め直しでの利用が主流でした。また、「冷凍保存のご飯の温め直し」「冷凍した食材の解凍」「冷凍食品(その他)の加熱」「冷凍食品(揚げ物)の加熱」「冷凍食品(蒸し物)の加熱」など、ホームフリージングしたものや市販の冷凍食品の解凍・加熱にも積極的に使われています。冷凍でストックしておいた食材や料理を調理するのに、冷凍庫と電子レンジの組み合わせは不可欠なようです。

「ケーキ作り・お菓子作り」に電子レンジを利用する人は全体では4割弱、20代の主婦では過半数に達しています。「電子レンジ専用食品の加熱調理」「野菜(葉菜類)をゆでる」「野菜(根菜類)をゆでる」についても全体で3割以上、年代によっては4割ほどに達し、《電子レンジクッキング》と呼ばれる電子レンジの積極的な使用方法も定着しつつあるようです。

電子レンジをどのように使っているか(MA)



## キッチンに出してあるのは「スポンジ」「台所用洗剤」。 ゴミはやっぱりジャマなもの。

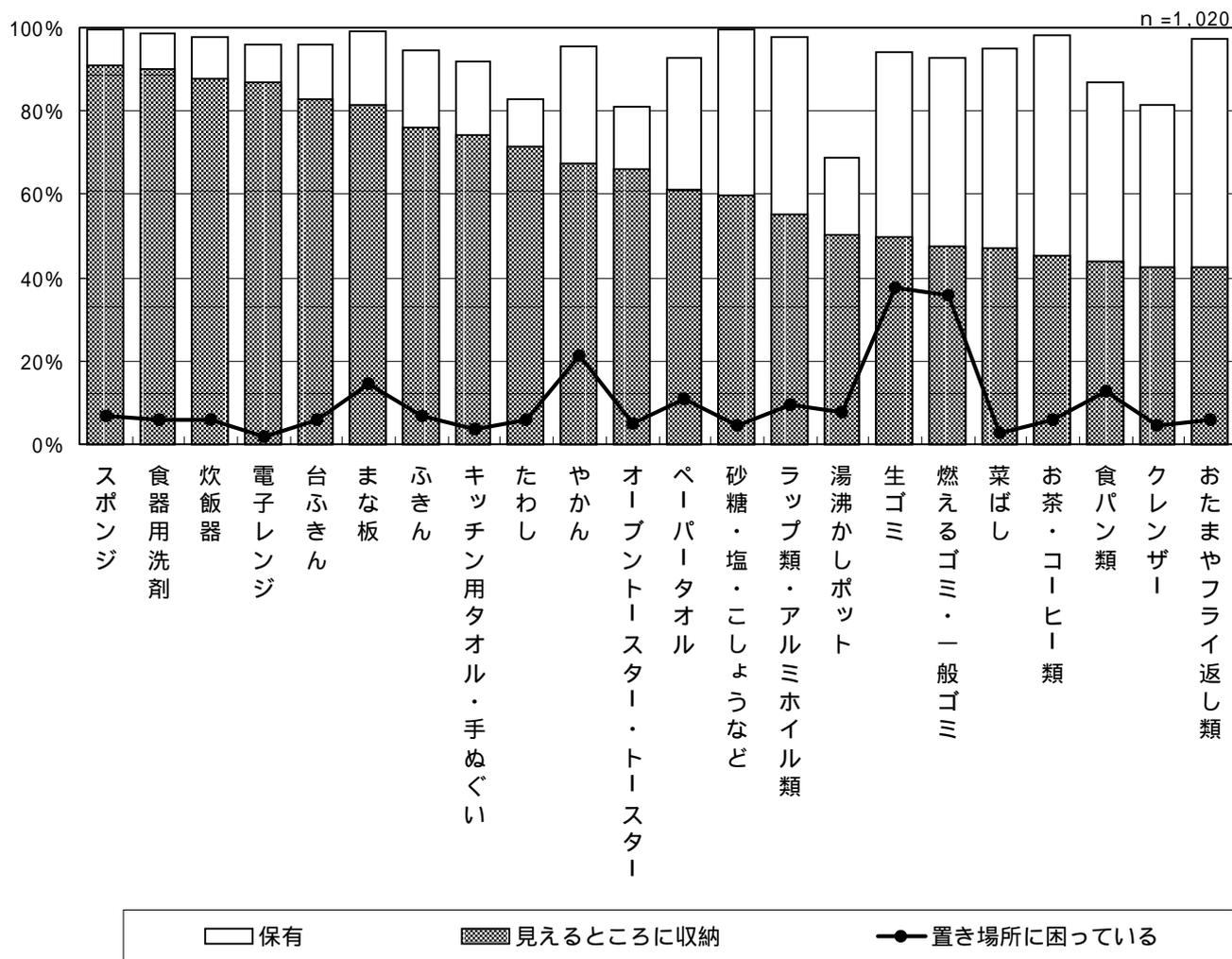
キッチンにあるものを60項目あげ、「保有しているもの」と、そのうち「目に見える場所に収納しているもの」「置き場所に困っているもの」を聞いてみました。

4割以上の人が目に見えるところに収納していると回答したものが、以下の22項目でした。上位は、「スポンジ」「食器用洗剤」「台ふきん」「ふきん」「たわし」など食器の後片付けなどの水まわりの用品と、「炊飯器」「電子レンジ」「まな板」「やかん」「オーブントースター・トースター」「ペーパータオル」など使用頻度が高く、場所をとるものでした。これらの項目は、だいたいどの家庭のキッチンでも、見回すと見えるところに置かれている、出してあるものということができます。「湯沸しポット」は、保有率が7割弱と比較的低いながら、見えるところに収納が過半数で、持っている家庭では出してあるようです。

「砂糖・塩・こしょうなど」「ラップ類・アルミホイル類」「生ゴミ」「燃えるゴミ・一般ゴミ」「菜ばし」「お茶・コーヒー類」「おたまやフライ返し類」は、保有率9割以上で見えるところに収納が4～6割と、どの家庭にもあるものですが、出しておくか見えないうちにしまうか二分されています。

「生ゴミ」「燃えるゴミ・一般ゴミ」は4割近くの方が置き場所に困っています。また、「空き缶・空きビン・PET」は過半数、「リサイクル用紙パック」「燃えないゴミ」「リサイクル用食品トレー」は4割前後の人が置き場所に困っていると回答しており、ゴミの分別・リサイクルできる種類は増加するのに、出して置きたくないのに収納スペースは限られ、困っているようです。

見えるところに収納しているもの-4割以上-(MA)



### **[ マーケティング・データ・バンクとは ]**

マーケティング・データ・バンクは、社団法人日本能率協会グループのシンクタンク、株式会社日本能率協会総合研究所(略称:日能総研 社長:栄 武男 本社:東京都港区)が運営する、国内最大級のメンバー制ビジネス情報提供サービス機関です。

開設以来30年以上、日本を代表する様々な業種の企業約2,000社の企画/調査/営業/技術部門の方々にご利用いただいております。官庁統計、公開調査資料、業界紙、各種民間企業発表資料など約12万点の蔵書を有し、独自の検索システムを構築いたしております。

各種業界事情に通じ検索手法をマスターしたスタッフにより、さまざまなビジネスデータを提供することが可能です。

電話1本で必要な情報を入手できるシステムとして、年間約12万件のお問い合わせに的確、迅速に対応し、情報収集のパートナーとして高い評価をいただいております。

### **[ 本件についてのお問い合わせ先 ]**

(株)日本能率協会総合研究所 マーケティング・データ・バンク

担当:土井 電話:03-3434-7508

〒105-0011 東京都港区芝公園3-1-38 秀和芝公園3丁目ビル4F

**本件引用の際は、お手数ですが、上記あて掲載紙をご送付ください。**

「今どきのキッチンに関する調査」 調査概要および購入のご案内  
～キッチン設備からミールソリューションまで、主婦の意識と実態総合調査～

今どきの主婦にとってキッチンとは？

今どきの設備・機器、見せるキッチン意識、キッチンにあるもの、収納の場所・困っているもの...

食事づくりの実態は？

調理行動・調理方法と面倒なこと、ミールソリューション(惣菜・加工食品・外食)の利用と抵抗感、電子レンジクッキング、ホームフリージングなど食品の保存と使い切り、食品保存グッズの利用...

後片付け・掃除の実態は？

日常の行動と嫌いなこと、気になる臭い・汚れ、掃除道具・洗剤・便利グッズ、ゴミ・リサイクル...

主婦が食事づくりなどの家事を行う拠点〈キッチン〉をテーマに、調査しました。

- ①キッチンに関する意識と実態
- ②キッチンの環境について
- ③調理行動の実態について
- ④キッチンの収納と掃除について

主婦の年齢・職業・子供の年代別・ライフスタイル・住宅事情などクロス分析を行い、多面的な意識と実態を明らかにする、基本データ集です。

【調査概要】

- ・調査対象：首都圏の20代～60代の主婦
- ・調査方法：「J-FAXリサーチ」システム利用によるFAX調査
- ・有効回収数：1,020人(発送1,300人・有効回収率78.5%)
- ・調査期間：2002年5月30日(木)～6月5日(水)

【調査参加の方法】本調査は、弊社自主企画による調査に複数企業にご購入いただく方式です。

- ・調査購入費用：定価 400,000円
  - MDBメンバー 360,000円
- \*消費税別途

【調査のアウトプット】

- 調査報告書(A4判・59ページ)
  - 集計結果表(A4判・459ページ)
  - 集計データ一式(CD-ROM)
- 本調査の報告書はご購入いただいた企業以外は入手できません。またデータのご利用は社内に限らせていただきます。

【お問い合わせ先・参加のお申し込み先】

〒105-0011 東京都港区芝公園3-1-38 秀和芝公園3丁目ビル4F  
(株)日本能率協会総合研究所 マーケティング・データ・バンク  
「生活者HOTアンケート」事務局 担当：土井  
e-mail <info\_mlmco@jmar.co.jp>

TEL 03-3434-7508 FAX 03-3578-7506

FAXフリーダイヤル0120-88-1284 この用紙ををそのままご返送ください。

MDB生活者「HOTアンケート」シリーズ 申込書

下記にレ印を付け、必要事項をご記入の上、ご送付ください。FAXにてご送信いただいても結構です。

「今どきのキッチンに関する調査」を購入する

「今どきのキッチンに関する調査」に興味がある(説明が聞きたい、アウトプット・調査票がみたい)

(MX 1001)

200 年 月 日

フリガナ				MDBメンバーコード			
会社名							
部課・役職名	フリガナ						
	ご担当者名						
TEL				FAX			
郵便番号	〒	-		e-mail			
住所							
連絡事項				ご請求金額	お支払い予定日		
				円 (消費税別)	年	月	日